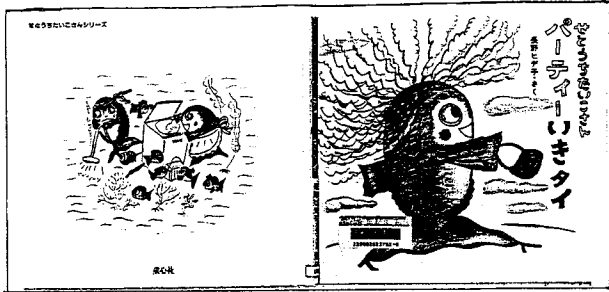


子どもたちといっしょに

せとうちたいいごさん

- 「デパートいきタイ」長野ヒデ子
- 「えんそくいきタイ」 ぶく
- 「パーティーいきタイ」童心社

せとうちたいいごさんは、なんでもやってみたいタイのおかあさんです。「タイだって、いちど」デパートにいきたーい」「タイだってでんしゃにものりたーい」「タイだって、いちど」パーティーにいきタイ」と、デパートやえんそくやパーティーにでかけていきます。そして、いろんなことがおこります。おとなでも、ページごとに絵をゆっくり見て、たのしめますか！ お子さんと、たのしんでみれば、いかがですか。こまかいところまで、よく描かれている絵もみものです。



第11回読書会「劇場のそとで」



まで申し込んで下さい。本を貸出します。しろね図書館・しろね図書館友の会・共催

佐々木 愛 著
(教育史料出版会)
日時・9月9日(日)
1:30~3:30
場所・白根学習館
ルーム1
どなたでも参加可
ご希望の方はカウンター

ある日
ブックポストに
こんなメモが
はいていました。
あまりかわい
いので、無断で
紹介します。小5
女子さん、ごめんな
さい。

図書館の人へ
この本は、つごうかいいろいろ
あって、すーと返せません
でした。すみません。
こんごも、本を借りさ
せてもらいます。

小5 女子

しろね図書館だより

No. 16

発行 白根市立図書館
平成13年 9月 1日

あおろ青い空にいわし雲が浮かぶようになり、秋がやってきました。夏休みには、たくさんの方々が図書館を利用してくださいました。蔵書は、120人が用意しておりますが、足りない時は、学習館の空いている部屋を借りて、「学習室」として提供しております。利用者の方々からは、色々なご意見をいただいております。「秋の上で読みたいのをしてほしいのに、蔵取りだけでカバンを置いたままにしておく人がいるので荷とかけてほしい」「ソファで居眠りしている人がいるが、雑誌や新聞を読みたい人のために、空けてほしい」などあります。どうぞ、ひとりひとりがマナーをまもって、気持ちよく図書館をご利用くださいますように、お願いいたします。

8月の
来館者----- 24,785人(見学者44人)
貸出冊数----- 16,025冊
予約件数----- 231件
ブックバス利用者--- 50人
" 貸出冊数----- 150冊

リクエスト情報 (しばらくお待ちください)
1位・「ハリ・ポッターとアズカバンの囚人」9人
2位・「ハリ・ポッターと賢者の石」8人
3位・「4-スほとんへ消えた」6人
4位・「きりりやのあいがみ」6人
"・「金持の娘さん」6人

報告 「真夏の夜の映画祭」しろね図書館 白根市中央公民館 共催

今回は、平和をテーマにした上映会でした。ご参加ありがとうございました。(ご場者) 7月31日(火)「ユジラ」----- 70人
8月1日(水)「未知との遭遇」----- 42人
8月2日(木)「火垂るの墓」----- 150人
8月3日(金)「サウンドオブミュージック」--- 44人
8月4日(土)「シンドラーのリスト」----- 45人
会場・ラスパックホール
=次回へむけて希望作品のアンケートを取りました。下の様な希望がありました=
1位(28人)---「宮崎 駿」アニメ映画シリーズ
2位(19人)---「風と共に去りぬ」などの外国映画シリーズ
3位(17人)---「アカデミー賞」受賞作品シリーズ
4位(13人)---「学校」シリーズ
" (13人)---「アニメ映画」シリーズ

第2回 こね〜いおはなし大会 主催

8月18日(土) おはなしのへや
プログラム (参加人数)
①絵本「おぼけのドジッ」> 子ども29人、おとな6人
おはなし「世界でいちばんきれいな声」
" 「元気な紅蓮屋」
② " 「盗賊のおむこさん」> 子ども25人
" 「白い家のおひいさん」> おとな5人
③ " 「黒いお嫁さま」> 子ども25人
" 「牛やまんぼ」> おとな9人
" 「ちいさいちいさい」
④ " 「おいてけぼり」> 子ども28人
" 「子どろでやうれい」> おとな7人
" 「金の腕」
来年もおたのみには、次は、12月22日(土)のクリスマスおはなし大会があります。

9月の行事		ブックバス予定		
1 (土)	おはなし会 3:00~	新飯田豊公 2:30~3:00	15 (土)	おはなし会 3:00~
5 (水)	絵本のじかん 2:00~	伊石公堂 3:30~4:00	19 (水)	絵本のじかん 3:00~
6 (木)		新飯田小 12:55~1:40	20 (木)	
7 (金)		坂根小 2:10~3:15	21 (金)	
8 (土)	おはなし会 3:00~	左津中 12:55~1:35	22 (土)	おはなし会 3:00~
9 (日)	読書会 1:30~3:30	左津地 C 2:00~2:40	26 (水)	絵本のじかん 3:00~
12 (水)	絵本のじかん 2:00~	左津小 3:00~3:45	27 (木)	
13 (木)		大宮小 2:30~3:15	28 (金)	
14 (金)		大宮中 3:40~4:40	29 (土)	おはなし会 3:00~
		大宮地 C 2:00~2:30		
		大宮農公 2:50~3:20		
		大宮小 3:40~4:10		
		大宮小 2:45~3:30		
		大宮小 3:00~3:45		
		白根中 4:00~4:40		
		白根小 1:00~2:00		
		白根小 2:30~3:30		
		新飯田豊公 2:30~3:00		
		伊石公 3:30~4:00		

新着資料

「超」整理法
愛することに「臆病な人」の教科書
わが道を行く
ネロ
週刊日本百名山
しっかりしてよ！介護保険
青少年白書
女の直感が男社会を覆す
女の直感が男社会を覆す
ふにふにやになった日本人
愛しすぎる母親たち
母さん、早く学校に行きたいよう！
これで「美しく」なる
美容の裏ワザ・隠しワザ
ママがせんせい
犬たちの礼節ある社会生活
つまらぬ男と結婚するより一流の男の妻にお
追憶マリリン・モンロー
もう一人の山田風太郎
パパイアの丘で
ホワイトパラダイス
眠れぬ夜を抱いて
世界の終わりの物語
人生の答え
真夜中のオーディション
六道遊行
化人幻戯
陸中海岸殺意の旅
日本のエーゲ海、日本の死
恋の十和田、死の猪苗代
謀殺の四国ルート
鬼女面殺人事件
海辺の悲劇
黙示録殺人事件
特急北アルプス殺人事件
千利休とその妻たち
千利休とその妻たち
暗い流れ
極光のかけに
記憶なき殺人
監視の接吻
誘拐指令
誓約
誓約
世界山岳百科事典
盗んではみたくれど
さびしい独裁者
十三貴目の人格
死神

続

2001年9月2日号

平成13年度版

上下

小学生編

上巻
下巻

上
下

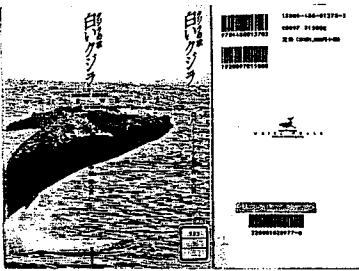
野口 悠紀雄 著
ギン・コルノー 著
影山 裕子 著
フィリップ・ファンデンベルク 著
伊藤 真美 著
内閣府 編
ヘレン・E・フィッシャー 著
ヘレン・E・フィッシャー 著
マークス 著
カリン・ルーベンスタイン 著
林 礼子 編著
別冊宝島編集部 編
平成暮らしの研究会 編
小林 カン代 著
エリザベス・M・トーマス 著
樋田 慶子 著
井上 篤夫 著
有本 俱子 著
大畑 清 著
杉本 利男 著
野沢 尚 著
パトリシア・ハイスミス 著
マイケル・J・ローズ 著
赤川 次郎 著
石川 淳 著
江戸川 乱歩 著
西村 京太郎 著
西村 京太郎 著
西村 京太郎 著
西村 京太郎 著
西村 京太郎 著
西村 京太郎 著
西村 京太郎 著
三浦 綾子 著
三浦 綾子 著
和田 芳恵 著
高杉 一郎 著
ロバート・クランビー 著
デボラ・クワンニル 著
ネルソン デミル 著
岩間 正夫 著
赤川 次郎 著
赤川 次郎 著
清水 義範 著

中央公論社
講談社
学陽書房
河出書房新社
朝日新聞社
草思社
財務省印刷局
草思社
草思社
草思社
主婦の友社
講談社出版サービス
宝島社
河出書房新社
学陽書房
草思社
草思社
集英社
砂子屋書房
新風舎
彩流社
幻冬舎
扶桑社
徳間書店
徳間書店
集英社
角川書店
角川書店
角川書店
角川書店
青樹社
双葉社
新潮社
中央公論社
新潮社
新潮社
講談社
岩波書店
講談社
講談社
講談社
文芸春秋
文芸春秋
山と溪谷社
徳間書店
徳間書店
角川書店
角川書店

お日本 ☆
楽 ☆
し ☆
み ☆
く ☆
だ ☆
だ ☆
さい ☆
天 今
才 月
童 展
話 示
詩 架
人 は
、 『
宮 宮
澤 澤
賢 賢
治 治
の の
世 本
界 』
を で
す
☆☆☆

『白いクジラ -クジラの歌-』 ロバート・シーゲル/作 中村 融/訳 (東京創元社)

この本に出会ったのはまったくの偶然でした。『白いクジラ』、その題名のとおり、この物語の主人公？・・・主クジラは生まれたばかりの白い仔クジラです。名前はフラレカナ・コルヤ。物語はフラレカナが生まれてから、ポッド(群れ)のリーダーになるまでの成長が描かれており、クジラという哺乳類最大の生物の目と心、海とその中の生き物の姿を描き出しています。人間のありさまをも見てとることが出来ます。また、密漁や石油流出、核実験といった海洋汚染の問題も海に住むものからの視点で描かれています。



ポッドの伝説的英雄の名がつけられたフラレカナには不思議な力があり、あるときアリーアという友達と二人で海底の探索へと出掛けていきます。そこには、静かに沈没船が横たわっており、船の中には色鮮やかな宝石が眠っていました。その時、突然フラレカナは時を超えたく「幻視」を見るのです。船の沈没した理由、火を噴く巨大な船、人間達のうめき声・・・。その不思議な体験は年月が経つにつれ頻繁に見るようになります。そしてついに人間の若者とも言葉を交わすようになり、さらに友情までもが二人の間に芽生えはじめます。

最後にわたしが何よりもおすすめしたいのが、歌で彼らの気持ちが表現されているところです。作者は詩人でもあるので、きれいな文章で、汚れていない青い海の中のイメージをそのままに描き出していると思います。以前、テレビでクジラの声聞いたことがありましたが、本当に歌っているような感じがしたのを覚えています。みなさんもぜひ、手にとって、海深いクジラの世界を楽しんでください。

(一般 933シ) [司書・小林友治]

読書会に参加して

(第一〇回読書会 八月一九日)

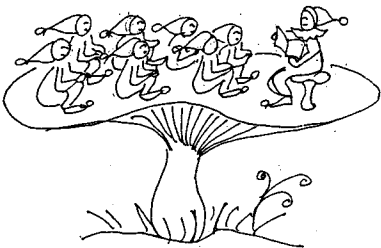
「ちくま文学の森? 恐ろしい話」 筑摩書房

目黒恵子

私にとって、夏の風物詩の一つとして「おぼけ」が挙げられます。「おぼけ」は、「怖い?」「恐ろしい?」「かわい?」「など、いろいろな想像してしまいます。今月はその中の「恐ろしい話」でした。短編集なので、「グリム」から「菊地寛」「志賀直哉」まで、お好みの作家をどうぞとばかり紹介されています。さて、どのようなお話かと、おぼけ屋敷の戸を開けるようにページをそつとめくってみましょう。すると……

「エー! この作家が、こんな憎しみの表現をしている」「ウー! 心の中の醜さを、ここまで表現できるのかなかあ!」などと、驚きとあまりに残酷な内容等に、閉口しながらも現代社会に通じるものがあるような? そういえば、酷似した事件があったような……: : : 気がします。「おぼけ」より恐ろしい人間である私達へ送られた魅力たっぷりの一冊でした。

読書会に参加させていただきありがとうございます。毎月「課題図書」について、それぞれの意見や感想を話し合う喜びと「本」を媒介とする心の触れ合いを、大変有意義に思っています。最後に、館長をはじめとする職員専門知識と明るい対応に感謝しています。



おはなし会・ブックトークの出前

小学校 中学校 高等学校へ「おはなし会」「ブックトーク」の出前をしています。「おはなし会」は、絵本を読んだり ストーリーテリングをして、本の紹介や 図書館利用案内をして、子どもたちと本を結び付けることを目的としています。「ブックトーク」は、テーマに沿って数冊の本を子どもたちが読みたくなるように紹介します。テーマについてのトークもし、絵本やおはなしも入れて、難しくならないように工夫しています。卓月の10分間読書書用に本の団体貸し出しもしています。ご利用ください。